

令和6年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表(観光振興連携活動)

NO	事業期間	連携組織名	事業名	構成自治体等	申請額	事業内容
1	R6～R10 (5年間) 1年目	多摩地域インバウンドガイド連絡協議会	多摩地域インバウンド受け入れ拡大のためのガイド人材養成・育成事業	立川市 国立市 一般社団法人立川観光コンベンション協会 特定非営利活動法人国立市観光まちづくり協会	4,000,000	<p>【課題】 ○コロナ禍の影響が薄れ、日本全体のインバウンド需要が回復しつつある。 ○立川を含む多摩地域では、外国人観光客の需要を満たすような豊富な自然や宿泊施設、魅力ある観光スポットが多数存在するものの、その受け皿ともなる観光ガイド人材が不足しているため、外国人観光客をターゲットにしたツアー造成などのインバウンド受け入れ増大にはハードルがある。</p> <p>【目的】 ○上記の課題を解決するため、質の高いインバウンドガイド人材を育成することにより、ソフト面での環境整備を充実させ、多摩地域の観光産業を活性化することで持続可能な地域社会に寄与したい。 ○外国からの観光客を含めた来訪者に向け、「多摩地域」「立川」をより深く理解し、体験してもらうことで「多摩地域」「立川」のファンを増やし、リピーターをより多く獲得することで、地域のにぎわいや回遊性の創出、観光消費額を増大につなげる。 ○多摩地域の住民からインバウンドガイドを発掘・育成することにより、自身の住む地域、またその周辺地域全体の魅力に気づき生まれ、シビックプライドの向上が期待できる。 ○ボランティアガイドではなく、質の高い有償ガイドとしてインバウンド来訪者を迎えることで、多摩地域の地域経済へも寄与する。 ○近隣大学の語学学科の学生とも連携協力し、多摩への関心度向上を図る。 ○複数自治体が取組むことで、インバウンドガイド人材を幅広く募集することができ、持続可能な取り組みに発展させることができる。 ○質の高い有償ガイドを育成することにより、観光産業における収益化を目指し、事業期間終了後の民間による自走化を実現する。</p> <p>【内容】 ○ガイドの発掘 ○ガイドの研修 ○旅行会社と連携したツアーの造成 ○ガイドのあっせん ○大学との連携 ○紹介・登録サイトやパンフレットなどの広報事業 ○海外で開催される旅行博でのPR活動</p> <p>【実施場所、対象者、参加予定人数】 ○実施場所: 立川市・国立市を含め主に多摩地域西側の市町村 ○対象者及び対象団体: 語学が堪能でインバウンドガイドに興味がある方、観光関連団体等 ○参加予定人数及び団体等100人(インバウンドガイド養成研修等参加人数)、10団体(協議会構成団体)、50施設(協力宿泊施設)</p>
2	R6～R10 (5年間) 1年目	多摩北部都市広域行政圏協議会	多摩六都の魅力発掘・発信プロジェクト	小平市 東村山市 清瀬市 東久留米市 西東京市	4,000,000	<p>【目的】 多摩北部地域(多摩六都)は、西武鉄道沿線に位置する地理的、歴史的につながりの深い地域で、75万の人口を擁している。30歳代・40歳代を中心に人口流入傾向にあるが、減少の地域もあり、高齢化も進んでいる。多くの人々に来ていただくことで、まちの賑わいを保ち、発展していくことが可能となることから、「選ばれるまち」になるよう5市が連携して観光面から取り組んでいく。多摩六都につながるの様々な人々がシビックプライドを高め、誇り・愛着・共感を持ってこの地域をより良い場所にしていくことを目指す。</p> <p>【観光のテーマ】 都心から1時間圏内かつ緑が多く生活しやすい環境にあるが、名所が少なく、この地域の魅力は一般に浸透していない。そこで、「多摩北部都市広域行政圏」の将来像「みどりと生活の共存圏」をベースに、「緑・公園」、「都市農業」、「暮らし」をテーマとする。</p> <p>【内容】 ○多摩六都の魅力の発掘・発信 多摩六都の住民に5市それぞれの魅力を浸透させるとともに、外部に発信する。1年目の令和6年度は、多摩観光推進協議会が当地で開催する回遊性イベントを補完し相乗効果を上げるよう、地域の魅力を紹介する冊子を作成する。また、今後予定する動画制作に向けて、コンテンツの整理及び調査を行う。 ○イベント等を通じたシビックプライドの醸成 多摩六都の魅力である公園を活用した市民参加型のイベント等を開催することで、地域の課題を市民や事業者と共有し、市民等による魅力発信につなげることを目指す。1年目の令和6年度は、公園等における市民参加・協働を研究し、今後の実施に向け準備を進める。</p> <p>【実施場所、対象者、参加予定人数】 実施場所: 多摩北部地域(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の5市) ターゲット: ○多摩六都の住民 :シビックプライドを持ち、住み続けるとともに発信を期待 ○ファミリー層とその予備軍(若者・子ども) :今後の流入を期待</p>

令和6年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表(観光振興連携活動)

NO	事業期間	連携組織名	事業名	構成自治体等	申請額	事業内容
3	R6～R10 (5年間) 1年目	福生・昭島 発!地酒と 深層地下水 の魅力を広 める協議会	福生・昭島 発!地酒と 深層地下水 の魅力を広 める事業	福生市 昭島市 福生市観 光協会 一般社団 法人昭島 観光まち づくり協 会 株式会社 グッドライ フ多摩	5,000,000	<p>【目的】</p> <p>(1)福生市の地域資源である「地酒」と昭島市の地域資源である「深層地下水」の魅力発信を通じて、地域資源が育まれた背景や歴史、文化とともに「食」を共通項とした近場で楽しめるツーリズムを造成し、地域消費額の増加を目指す。</p> <p>(2)隣接する2市が、交通の要衝でもある拝島駅を基軸としたツーリズムを調査・研究することで、福生や昭島への流入人口増加の機会創出や経済波及効果の向上を目指し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>(3)民間企業等とも連携し、福生市の地域資源である「地酒」と昭島市の地域資源である「深層地下水」を活かした新たな魅力の発信に取り組む。</p> <p>【内容】</p> <p>(1)地域資源の磨き上げによる魅力発信          拝島駅を拠点として、福生や昭島への流入人口を増やすためのツーリズム造成を行う。地酒・深層地下水をキーワードとして、モニターツアーを行う。</p> <p>(2)若者の力を活用し福生・昭島の新たなファン層を獲得          大学生を活用したアイデアソンによって、これまでの視点に拠らない新たな魅力の造成・発信を試みる土台作りとして、都内の大学ゼミとのコラボを通じ、地酒・深層地下水をキーワードとして、福生や昭島に訪れたいと思わせるような仕掛けづくりを行い、次年度に備える。</p>
4	R5～R9 (5年間) 2年目	福生・羽村・ 瑞穂地域の 魅力を結ぶ プロジェクト 協議会	福生・羽村・ 瑞穂地域の 魅力を結ぶ プロジェクト 事業	福生市 羽村市 瑞穂町 福生市観 光協会 一般社団 法人羽村 市観光協 会 瑞穂町観 光協会	6,500,000	<p>【目的】</p> <p>2市1町は往来もスムーズにできるコンパクトなエリアであり、そのエリア内で味わえる「体験」「経験」をテーマとして都心部や近隣県に住む方々をターゲットに、気軽に行ける観光地として、地域資源の再発見や既存コンテンツの磨き上げを行いながら2市1町の魅力を結ぶルートを満喫するツアー造成やサイト構築等を行い連携自治体の観光資源の魅力発信と新たな交流人口を獲得し、同時に域内事業者の観光産業や誘客に関する育成も目指す。</p> <p>【内容】</p> <p>①モニターツアーへの交通事業者等の招へいと商品化          ターゲット世代別のツアーを行い多角的な視点でのツアー造成を行ったり、交通事業者等を招へいたツアーを開催して、さらなる磨き上げを図ると共に、民間事業者が商品化をしていただけるようサポートしていく。</p> <p>②自治体紹介ページの作成とツアー販売等のサイト構築          令和5年度実施したモニターツアーをベースに2市1町を紹介する特設サイトを構築し、エリア内のPRと誘客を図り、地域での消費を促し、最終的なツアー紹介やツアー販売も含めたサイト構築を行い、運営をしていく。</p> <p>③ターゲットに対しての該当エリアの効果的なPR活動          当該エリアに興味関心がある世代や日帰り旅行を好む方等を絞り込み、SNS等で効果的な宣伝活動を行う。無差別のPRではなく、求めるニーズと合う方や日帰り旅行ができる範囲に住んでいる方等にPRしていく。</p>
5	R4～R6 (3年間) 3年目	シェアサイ クル観光連 携推進協 議会	シェアサイ クル観光連 携推進事 業	立川市 小平市 日野市 国分寺市 国立市 福生市 東大和市 武蔵村山 市 OpenStre et株式 会社	5,232,880	<p>【目的】</p> <p>広域連携が可能なシェアサイクルプラットフォームを使用している8自治体において、新たな地域交通の担い手のひとつとして、シェアサイクルが活用され定着するよう、広域利用のPR活動等を通じて促進を図ると共に、シェアサイクルを軸とした観光地等の相互連携を推進させるなど、新たな広域コミュニティの形成及びその活性化を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>前年度の7市から、東大和市を加えた8市に規模を拡大し、シェアサイクルを活用した広域的なキャンペーンを実施する。利用の動機づけとして、参加するいずれかの2市をまたいで貸出・返却を行い、観光地をにチェックインした場合、次回利用時に使用可能な200円分のクーポンなどの特典を配布するなど、広域利用を促進させる。</p> <p>◎プロット位置の選定(各自治体10箇所×8自治体を想定)</p> <p>◎各自治体の観光地等を種別や目的等を鑑みてシェアサイクルでつなぎ、ルートとして提案するためのポータルサイトの運用を継続する。</p> <p>【実施場所、対象者、参加予定人数】</p> <p>◎立川市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、東大和市、武蔵村山市の市内</p> <p>◎シェアサイクルプラットフォーム利用者(構成自治体外の方も参加可能)</p> <p>◎2000回(人)×1月=2000回(人)想定</p>
6	R4～R8 (5年間) 3年目	北多摩縄文 連合	北多摩縄文 の里	調布市 東村山市 国分寺市 国立市 西東京市	2,006,623	<p>【目的】</p> <p>文化財行政に関しましては、国も文化財を保存から保存と活用へと政策を変換しています。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録される等、今、縄文に注目が集まっています。北多摩地区にも、国の重要文化財の指定を受けている縄文の貴重な遺跡、出土品が存在します。そこで、貴重な縄文の遺跡を持つ市で連合をくみ、縄文の魅力・歴史的意義をPRし、地域振興及び広域観光を推進します。</p> <p>【内容】</p> <p>縄文時代の遺跡や遺物の保存や活用について意見交換をおこないます。連合市間で縄文に関する展示、講演会、体験などの広報等で協力を図ります。地域の縄文のPR、地域観光に関するパンフレットを作成し、スタンプラリー等で回遊を図ります。</p> <p>【実施場所、対象者、参加予定人数】</p> <p>スタンプラリー 5市で実施 対象者 博物館の来館者(メインターゲットは高齢者層) 参加者は600名</p>

令和6年度多摩・島しょ広域連携活動助成金事業計画一覧表(観光振興連携活動)

NO	事業期間	連携組織名	事業名	構成自治体等	申請額	事業内容
7	R3~R7 (5年間) 4年目	東京アドベンチャープロモーション協議会	東京アドベンチャープロモーション事業	青梅市 奥多摩町 青梅市観光協会 奥多摩観光協会 御岳山観光協会 青梅商工会議所 東日本旅客鉄道八王子支社	5,000,000	<p>【目的】 新規作成するエリア観光PR動画の更なる発信</p> <p>【実施内容】 ＜SNSを活用した認知度の向上＞ ● 青梅市・奥多摩町の観光情報を総合的に発信するアカウントを設け、Instagramに観光施設や季節の魅力、地域特産物、イベント情報などの質の高い情報をリアルタイムに発信する。 ● 都心のファミリー層への影響力の高いインフルエンサー等を活用することで、投稿した情報がターゲットに適切に届くようにする。 ● Instagram投稿頻度を維持するとともに、地域の事業者や住民の有志である「(仮)青梅・奥多摩情報発信隊」による投稿割合を増やします。投稿KPI200(協議会40:発信隊160)「情報発信隊」新規加入を目的とした、フォトコンテストを開催する。 ＜観光PR動画共同プロモーション＞ ● 地域の事業者や住民の有志である「青梅・奥多摩情報発信隊」が現地で撮影した訪問・体験レポート動画をこまめにアップすることで、次の週末の来訪につながるプロモーションを行う。 ● 訪問・体験レポート動画は、登山・ハイキング、リバーアクティビティ、キャンプ、バーベキュー、フィッシングなど、テーマ別に取りそろえることで、フォロワーの興味・関心に沿って選択できるようにする。</p>
8	R3~R6 (4年間) 4年目	多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト実行委員会	多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト	多摩市 稲城市 八王子市 日野市 町田市 多摩大学 総合研究所 京王観光株式会社	7,000,000	<p>【背景】 新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドや国内旅行が激減し、観光事業者や飲食店をはじめ、地域経済に大きな影響を与えている。一方で、移動自粛期間中においても人々の旅行ニーズは高く、近隣地域への移動、特に多摩地域においては、昼間に人が密集する都心部に比べ観光周遊が継続している傾向がある。</p> <p>【目的】 本プロジェクトは、マイクロツーリズムを『地元や近隣を含めた広義の「観光まちづくり」と定義し、「地元の魅力」を再発見や、地域に造詣の深い人材の発掘などを通し、地元自治体や観光協会、事業者同士の信頼関係を根付かせることにより、地域内関係人口を増やし、地域経済への貢献を目指す。</p> <p>【内容】 本プロジェクトでは、次世代を担う大学生等2名以上で構成するチームから公募したアイデアをもとに、公募チームと地域自治体・事業者とのマッチングを行い、実用化に向けたブラッシュアップをしていくことを1年間の流れとする。プロジェクト期間中は主に多摩地域居住者の周遊ニーズにむけた、マイクロツーリズムのコンテンツ(周遊コースに限らない)として実用化検証を行うとともに、期間後の5年目以降にむけ、マイクロツーリズムをデジタル媒体などに集約するとともに、ツアー旅行や宿泊旅行のオプションとして実用化し、インバウンド需要にもつながるマイクロツーリズムコンテンツとしていく。 年度途中では1次審査会を実施し、企画に対して課題解決力、実現性、地域活性化、汎用性、SDGs、創意工夫・熱意の項目により審査し、良案提案チームに対して活動支援金を支給し、実証への支援を行う。 また、年末のドラフト会議兼最終審査会では、実証によりブラッシュアップした企画のプレゼンテーションを行う。自治体・観光団体・民間事業者による交渉権投票にて最終マッチングをするとともに、企画を審査し、優秀チームには賞品を授与する。</p>
				合計	38,739,503	